

澁澤栄一肖像 新 壹萬円札

田園調布百周年の今年、20年ぶりに発行が予定されているのが澁澤栄一翁肖像の一万円札です。今年7月をめどに発行すると発表しています（独立行政法人国立印刷局）。

日本の紙幣印刷技術は世界高水準を誇っていますが、以下のように新しい偽造防止技術が見られます。

高精細のすき入れ（すかし）

澁澤肖像のすかし周囲には、緻密な画線で構成した連続模様が見られます。

施されています。

3D ホログラム

表面左から2列目、4種の画像は、角度により3D（三次元）で回転するかのように見えるホログラム（光の干渉などを利用した感光技術）です。お札への採用は世界初だそうです。

千円札（北里柴三郎）、5千円札（津田梅子）を含め、本物を手に取って見られる7月が待ち遠しいものです。

（編集委員長 出口 清孝）



↑この部分が3Dホログラム

【毎日新聞 mainichi.jp より】

新任 田園調布警察署 庄崎 宗晴 署長

着任日 2023(令和5)年8月28日
 前任地 滝野川警察署
 出身 長崎県
 趣味 釣り
 意気込み コロナ禍を超えて、地域の活動が活発になるのを応援するためにも、署員とともに、安全安心なまち 田園調布の実現を目指します。



一般社団法人 田園調布会 町会交流プラザの紹介

【第9回：2023年9月3日（日）】
 中澤宗幸氏（ヴァイオリン制作者）・中澤きみ子氏（ヴァイオリニスト）「ストラディヴァリウスがやって来た！」
 ・中澤宗幸氏によるヴァイオリンの歴史；陸前高田の奇跡の一本松の材によって製作されたヴァイオリンを披露
 ・きみ子女子による名器ストラディヴァリウスによる演奏
 （一社 田園調布会 児嶋 和歌子）

映画『窓ぎわのトットちゃん』が2023年12月8日（金）に公開されました。トットちゃんが子供時代に過ごした田園調布、自由ヶ丘が舞台です。（一社）田園調布会も協力させて頂いております。

わがまち情報（1月～3月）

2024年
 1月9日（火）調布大塚小学校 開校記念式

【卒業式】
 3月19日（火）田園調布中学校
 3月22日（金）田園調布小学校 調布大塚小学校



子どもたちの川柳

田園調布中学校 現三年生が詠んだ川柳

電話中 いつもより高い母の声

三浦 茉莉花

テスト前 計画立てて満足す

福井 美咲

あと5分 起きたときにはもう8時

小柳 円花

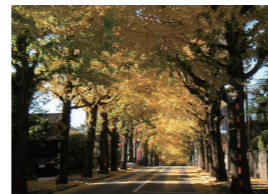
編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は記録的猛暑が毎日続いていましたが、本号がお手元に届く頃は、寒さが厳しい季節になっていると思います。

今回、田園調布誕生百年記事の中で田園調布駅が大変変わった事でびっくりしました。また、渋沢栄一さんの一万円札も出来て早く見たいですね。

（編集委員 落合光枝）



訂正

前号（132号）、3面のマンガに関する記事で、1コママンガ作者の学年に誤りがありました。正しくは、

5年生 れいちネコさん

でした。お詫びして訂正致します。

でんえん わがまち HP



第133号
 田園調布駅
 令和6年1月
 January, 2024
 季刊 Quarterly

でんえん わがまち
 Mytown Den-en-chofu
 発行 地域力推進 田園調布地区委員会
 編集 だんえんわがまち編集委員会
 事務局 田園調布特別出張所 大田区田園調布1-30-1
 TEL 03-3721-4261
 http://www.city.ota.tokyo.jp/

田園調布生誕百年 澁澤翁の精神と共に

今からさかのぼること百年。調布駅（当時）駅舎2階にはジグス堂という洋食屋がありました。1924年12月26日、この地に名乗りあげたばかりの住民が集まり、第1回住民協議会が発足したのです。これが、田園調布2万人、9町会の住民自治のはじまりです。

時代を見抜き牽引、田園調布一帯を開発分譲したのは「田園都市株式会社」。資本主義の父と称される澁澤栄一翁が中心となって大正7年に設立された株式会社であります。

澁澤翁は田園調布の開発を生涯にわたって関心事の集大成と考えていたのでしょう。田園都市のあり方として「一方に於て大都市の生活の一部を為すと共に他方に於て文明の利便と田園の風致とを兼備する大都市附属の住宅地ありとせば如何に満足多きことで…」（同社案内より）

なお、実際に田園調布開発の実現には、氏の四男の秀雄氏が担っていました。澁澤翁は現役を退いていたからです。

田園調布会の設立

初回の住民協議会から2年後、社団法人規約が作成され（1926年5月）、正式に田園調布会の発足に至りました。なお、一般社団法人化は、ずっと後の2014年のことでもあります。

澁澤翁の精神と理想に則り、「田園調布憲章」を、住民主体で1982年5月に制定しました。



澁澤翁が車に乗り込もうとしている。2階ジグス堂は当時新聞連載の評判マンガ「ジグスとマギー」からとったと言われている。

【東急株式会社】

二代 駅舎 田園調布のシンボル

旧駅舎は、東急電鉄の前身目黒蒲田電鉄が1923年3月に目黒～丸子（現・沼部）に鉄道を開通させた時、調布駅として建設されたものです。その年11月に丸子～蒲田間が開通し、目黒～蒲田間13.2kmが開通し、田園調布の開発を進めるにあたっての重要な役割を担うことになったのです。なお、田園調布駅に改称されたのは1926年です。

大正12(1923)年に完成した駅舎は老朽化と東急東横線路の地下複々線化のため1990年に一旦解体されましたが、住民要望のもと2000年に復元され、今に至ります。

復元に携わった技術グループは壁材の大谷石のノミ目一つにも気を配って再現したと言われています。駅舎はまちのシンボルでもあり、東急グループ発祥の地の記念碑ともなりました。

百年の重み：苦闘と将来

1980年代から地価の高騰、それによる敷地の細分化による環境悪化の懸念等、地区計画を制定し対応してきました。一方、少数の反乱に翻弄され、会の運営が危うき現実をしかと経験し、田園調布会も悲しい出来事の連鎖も事実です。

田園調布憲章、その2条には、「創業時 澁澤翁の掲げた街づくりの精神と理想を知り、自治協同の伝統を引き継ぎましょう。」とあります。「自分の幸せは周りが幸せになった時」その理念で街を創れば、住民が協力して豊かな環境づくりの維持につながると考えられます。

社会全体が利己主義になりがちな今こそ澁澤翁の理念が広がってほしいと思う次第であります。

その魂には澁澤翁のDNAが確かに引き継がれていることです。

（一般社団法人 田園調布会 児嶋和歌子）

掲載以外の写真はQRコードで見られます。



昭和10(1935)年頃の田園調布全景
 【郷土誌 田園調布、中央公論事業出版、2000年12月】

【募集】 田園調布せせらぎ公園 体育施設の愛称 (ニックネーム)



せせらぎ公園内に今秋にも竣工予定の仮称大田区田園調布せせらぎ公園体育施設について、田園調布地区の皆さんに親しみの持てる愛称 (ニックネーム) を募集します。

なお、適切な案が寄せられない場合は「採用なし」もあり得ます。
6. 結果：本誌で発表する予定です。
(編集委員長 出口 清孝)

【建物概要】
鉄筋コンクリート (一部鉄骨) 造2階建、延べ1,982㎡、1階：体育競技部 800㎡、2階：運動室 190㎡、防災倉庫 90㎡。今年7月に竣工予定 (2023年11月現在、2階躯体工事中)

現在建設中の体育施設は、体育競技部 800㎡を中心とするスポーツ施設として、次のようなコンセプトで計画されています。

- ・スポーツ・レクリエーションの拠点：スポーツに親しめ、新たなにぎわいの場の充実
- ・地域防災の拠点：安全な避難空間の確保と物資備蓄の充実
- ・地域文化活動の拠点

完成予想図、コンセプト、および既存のせせらぎ館と相まって、区民に親しみのある「愛称」(ニックネーム) を募集することにしました。魅力ある名称を応募して下さい。

【募集要項】

1. 対象：大田区 田園調布地区の居住者 (小学生以上)
2. 応募数：ひとり1案 (2案応募の場合は両方とも無効とします)
3. 応募期限：2024年1月26日 (金)
4. 応募方法：スマホでQRコードを読み取り、Googole フォームで応募して下さい。必要事項：ペンネーム (氏名)・年齢・メールアドレス・愛称名 (ニックネーム)。
5. 審査：田園調布地区自治会連合会の審査委員会で審査。



長らく行ってきた東急多摩川駅前通りの歩行者天国。田園調布協和会は、警察署とも相談し、今年4月 (予定) にも解除する方針としました。

昭和50(1975)年頃、この通りで町会会員の子息の死亡事故が契機で、当時の町会長が警察に折衝し、日祭日の歩行者天国が実現しました。その頃、通りの両側に商店が並んで人通りも多く、子どもたちを車から守るのには効果がありました。しかし、現在ではどうでしょうか。

東急線改良工事に伴い片側みの商店街になり (1992年)、子ども達の楽しげな様子も、まれにしか見ることができません。

歩行者天国と公共性

体の不自由な人や高齢者にとって、雨の日曜に多摩川駅まで車で送迎できないのは、不合理です。せせらぎ館を始め体育施設 (今秋竣工)、田園調布中央病院 (2025年開業予定) と公共性の高い施設が集中しています。

2022年秋、町会員に対してアンケートを実施し、廃止意見が過半を占めました。さらに理事会、総会で審議した結果、町会として解除を決定しました。

これを受け昨年6月、田園調



駅前通り南側から見た光景：通行止め前には、時として駐車車両が見られる。宅配の業者等には、苦勞を強要している。東京都公安委員会が承認し、写真右上の通行止標識が撤去されれば正式な歩行者天国解除になる。

布警察署に解除を申し出ました。ただし正式決定は、東京都公安委員会の承認に従うこととなります。

お祭り時の歩行者天国は可能

お祭りやフリーマーケット等の際には、その都度申請すれば歩行者天国が実施できることを、警察署に確認しています。

懸念は、駅前通りの車両速度の低減です。これには大田区地域基盤の関係部署と相談しながら進めています。

歩行者天国が廃止された後は、平日と同様になりますから、歩行者の方は間違っても車道を歩かないようお願いします。

(田園調布協和会 山本 詔三)

多摩川駅前通り 歩行者天国制度、ついに廃止の方向へ

盆踊りソング DenDen 音頭



♪デデーデン、デデーデン、…田園調布はどんなとこ…♪
と楽しい歌声が聞こえます。昨年10月21日実施の「田園調布フェア」駅前仮設ステージです。これは田園調布二丁目自治会が作成した田園調布を紹介する盆踊りソング「Den Den 音頭」です。作詞・作曲は吉田 佐由子、歌は川井 佐知子、振付は鈴木 優子 (敬称略)。オール田園調布在住メ

ンバーによる作品です。当日は田園調布小運動会と重なりましたが、田園調布商店街振興組合 橋本会長、田園調布小学校 PTA 牧野会長らとの連携により実現できました。スタジオ・クロアの生徒達によるコンテンポラリーダンスやバレエ作品も披露されました。何と国際コンクールで受賞した作品も含まれています。



写真は出演の子供達ご父母等よりご提供頂きました。さらに、二丁目自治会 吉田 副会長には様々な面でお世話になりました。関係各位に感謝申し上げます。
(編集委員 出口 清孝)

マンガ企画 第2弾 調布大塚小学校

マンガ企画、前回に続き第2弾は、調布大塚小学校です。募集要項は田園調布小学校にない同条件 (デジタルOK・着色自由・4コマor1コマ・複数応募可) にて、昨年9月上旬に全校生徒にレター配布、10月12日提出締切で募集しました。その結果は次の通りです。
応募総数：11点
内訳：6年生4件、5年生3件、4年生2件、3年生2件、2年生0件、1年生0件。
全応募作品はQRコードで見られます。
(調布大塚小学校 PTA 朝倉 菜生子・米山 まり子・木元 里奈)

ペンネーム あられっちゃん の作品 (6年生)
ペンネーム ないふあみ さんの作品 (5年生)

田園調布一丁目東自治会 子供祭り 2023年10月1日

プリン公園 (一丁目東公園) では、当日10時前から子供たちの歓声や笑い声が響き、近隣の皆様には少々ご迷惑とは思いましたが、寛容なお気持ちで見守っていただきました。

白バイとの記念撮影、空手の演武披露…、そして相変わらずの一番人気はミニSL。午前午後1時間ずつでありましたが、常に行列でした。



予定は午後3時まででしたが、焼き鳥・焼きそば、調布大塚おやじの会で用意いただいたおもちゃや景品、2時過ぎには全てなくなるほどで、4年ぶりに目が回るほどの忙しさに忙殺されました。
(田園調布一丁目東自治会 稲垣 芳隆)